

南日本産ほんだわら属ノ種類ニ就テ（其一）

山 田 幸 男

Yukio YAMADA: Notes on *Sargassum* from the Southern Parts of Japan (I).

本邦産ほんだわら類ニ關シテハ故遠藤吉三郎博士ノ詳細ナ研究ガアツテ可成リニヨク知ラレテキル如クニ思ハレル。然シ乍ラ博士ノ主トシテ調査研究セラレタルモノハ我邦中部並ニ北部ニ多ク且ツ我近海ニ特有ナル種類デ、我南海ニ產スルモノニ關シテハ比較的觸レル所尠ク、特ニ J. G. AGARDH 氏ノ *Eusargassum* ナル亞屬ニ屬スル種類ニ就テハ我邦ノ種ハ未知ノ事柄ガ非常ニ多イ。一體 *Eusargassum* ノ各種ハ何レモ南海即チ熱帶、亞熱帶ニ產スルモノデ溫帶ニハ尠ク所謂印度パチフィックノモノデアルガ、我邦デハ潮流ノ關係上比較的北部ニ迄分布シ、土佐、紀伊、伊豆諸島ニ迄ソノ生育スルノガ見ラレル。勿論臺灣、琉球、九州等ニハ可成リニ饒産スル。此等ノ種ハ我邦中北部ニ產スル種ニ比較スルニゾノ研究ガ著シク困難デアル。何トナレバ我邦ノモノハ上述ノ如ク分布ノ北限ヲ示スト思ハレルモノガ多イノデアツテ、同ジ種類ガ我版圖以外ノ南部ニ生ズル疑ガ充分ニアル。依テ此等ノ地方ノ種類ヲ充分ニ比較考查セネバナラナイ。而シテ此等ノ種類ハ特ニ外形ノ變化性ニ富ミ、其上種類數ガ多ク今日迄ニ記載セラレタモノ約 170 種ヲ超ヘル。而テ此等ノ種ハ上述ノ如ク大部分ガ印度パチフィックノモノデアリ、其等ガ何レモ歐洲ニ於テ記載サレ、ソノ材料ハ頗ル貧弱ナ斷片ニヨツタモノガ尠クナイ。依テ我邦ノ材料ヲ單ニ原標本ニ比較シタ丈ケデ簡単ニ種ノ同定ガ出來ルモノデハナク、實際廣ク南海ヲアサリ、各地方ニ於ケル各種ノ變化性等ヲ充分ニ研究シ知悉シタ上デナケレバ正確ナル同定ハ不可能デアル。筆者ハ年來此ノ類ノ分類ヲ行ハントノ野望ヲ抱キ在學時代ヨリ相當ノ材料ヲ採集蒐集シ、昭和三年在外研究員ヲ命ゼラレタ際ニ瑞典國ルンド大學臘葉庫ニ於テ AGARDH 父子ノ原標本多數ト比較研究セんモノト多數ノ我邦產標本ヲ持參シタノデアツタ。當時アメリカヲ去ツテ大陸ニ渡ツタ際ニハ、歸國ノ時ニハ此等ノほんだわら類ハ何レモソノ正シイ名ヲ得ルモノト期待シタノデアツタ。所ガコノ豫期ハ全然ハヅレ終リ J. AGARDH ノ原標品タルヤ上ニ述ベタ様ナ有様デ體ノ一部ニ過ギザルモノ多ク、一面又已ノ各種ニ就テ變化性等ヲ充分ニ知悉シテ居ラヌヲ悔ムノミデ空

シク又材料ヲ行李ニツメテ持歸ツタノデアツタ。爾來約10年我南海ノフロラ調査ノ機ヲ得特ニ此ノ類ニ注意ヲ怠ラナカツタ。其間昭和10年幸ニモ再度米國加州大學臘葉室ニ滯在スル機ヲ得タノデ現在此ノ類研究ノ第一人者タルSETCHELL教授ノ意見等ヲモ聞クヲ得、幾分得ル所ガアツタノデ下ニ斷片的デハアルガ邦產、特ニ南海產ほんだわら屬ノ種類ニ就イテ記シテ見度イ。

尙故遠藤博士ガ故岡村先生ノ藻類名彙第2版中ニ執筆サレタモノヲ見ルニ此屬全體トシテ39種ヲ記載サレテキルガソノ内 *Eusargassum* ハ入ルモノハ次ノ19種デアル。

<i>S. graminifolium</i> J. AG.	<i>S. aquifolium</i> J. AG.
<i>S. assimile</i> HARV.	* <i>S. latifolium</i> J. AG.
<i>S. duplicatum</i> J. AG.	<i>S. vulgare</i> C. AG.
<i>S. berberifolium</i> J. AG.	* <i>S. fuliginosum</i> KÜTZ.
<i>S. cristaefolium</i> C. AG.	* <i>S. polycystum</i> C. AG.
<i>S. heterocystum</i> MONT.	<i>S. nipponicum</i> YENDO
<i>S. brevifolium</i> KÜTZ.	<i>S. siliquosum</i> J. AG.
<i>S. microphyllum</i> J. AG.	<i>S. Ringgoldianum</i> HARV.
<i>S. microcystum</i> J. AG.	<i>S. sagamianum</i> YENDO
* <i>S. myricystum</i> J. AG.	

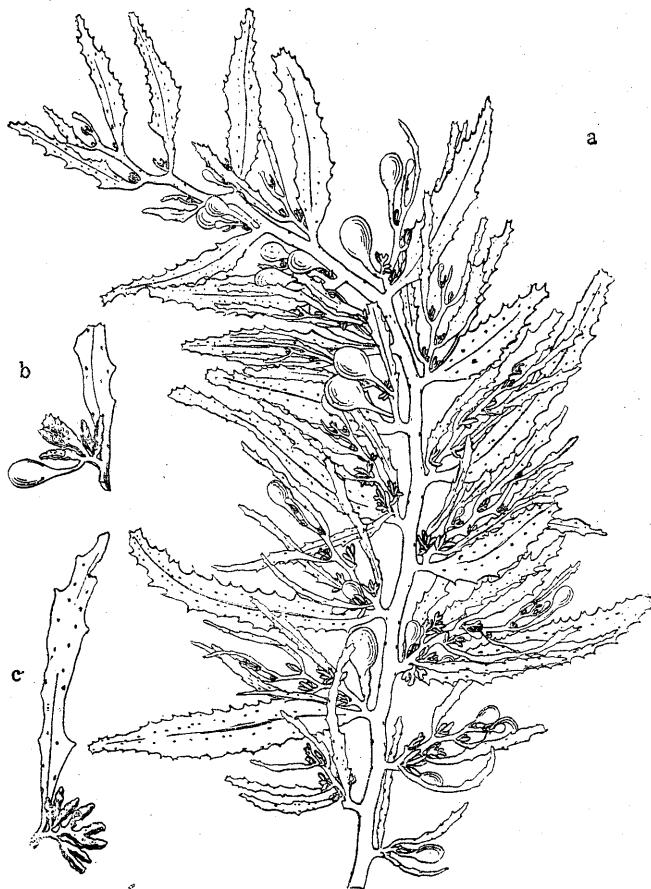
以上ノ内 *印ヲ附シタ種類ハ邦内ニ産スルヤ否ヤガ判然トセヌモノデアル。其後同博士ハ更ニ Notes on algae new to Japan = 於テ *S. Sandei* RBLD. ヲ新ニ報ジ且ツ *Fucaceae of Japan* = 於テ *S. cinctum* J. AG? トアルモノヲ *S. cervicorne* GREV. = 又同様 *S. microcystum* J. AG. トセルモノヲ *S. Grevillei* J. AG. ト訂正サレタ。

次ニ故岡村先生ハ日本海藻誌=於テほんだわら屬ニ54種ヲ記載サレタガ内 *Eusargassum* ハ28種デソノ内判然タラザルモノデ單ニ日本近海ニ産スルコト、想像サレルモノガ約6種含レテキル故ニ判然トシタモノハ22種トナル。以上ノ外筆者ハ遠藤博士ノ *S. Grevillei* J. AG. トサレタモノヲ *S. crispifolium* YAMADA ナル新種トシタ。

此ノ稿ニ於テハ主トシテ *Eusargassum* ニ屬スル種類ニ就テ新知見ト思ハル事柄ニ就テ順序ナク述ベル事ニスル。幾分デモ讀者諸賢ノ本屬植物ノ種名同定等ノ際ニ寄與スル所アラバ誠ニ幸デアル。又特ニ本屬植物標本等ノ御寄贈又ハ御貸與ヲ願ヘレバ幸デアル。

尙本調査ニ用ヒタ材料ノ一部ヲ蒐集スル爲日本學術振興會並ニ文部省科學

研究費ノ補助ヲ得タ。又材料蒐集ニ當テハ北大理學部猪野助教授、田中、中村兩學士ノ助力ヲ得タ。此處ニ厚ク感謝ノ意ヲ表スル次第デアル。



第1圖 ひらえもく *S. Swartzii* C. AG.
a. 成熟セル主枝上端 ($\times \frac{2}{3}$). b. c. 生殖器托 ($\times 1\frac{1}{3}$).

1. ひらえもく ***S. Swartzii*** (TURNER) C. AGARDH, Spec. alg. (1821) p. 11; Id., Syst. alg. (1824) p. 296; J. AGARDH, Spec. alg. (1848) p. 328, pp.; Id., Spec. Sarg. austr. (1889) p. 85, pp.; KÜTZING, Tab. Phyc. vol. 11 (1861) pl. 18; GRUNOW, Addit. ad cognit. Sarg. (1913) p. 381; REINBOLD in WEBER v. BOSSE's Liste des alg. du Siboga, vol. 1 (1913) p. 157; SETCHELL, Hong

Kong Seaweeds, V (1936) p. 3—*Fucus Swartzii* TURNER, Hist. Fuc. vol. 4 (1819) pl. 284.—(第1圖)。

本種=該當スル植物ハ猪野助教授が筆者ノ請ニ應ジテ昭和11年3月ほんだわら類發生研究ノ目的デ渡臺ノ際=採集サレタモノデ3個ノ乾燥標本ガアル。然シ遺憾乍ラ此等ハ何レモ打揚品デ基部ヲ缺キ主枝ノ上部ト思ハル、モノデアル。然シ成熟シタ生殖器托ヲ有シ、此ノ特徵アル種ト容易ニ同定サレル。上述3個ノ標本ノ内最大ナモノハ全長75cmデ軸ハ明ニ扁平トナリ、ソノ幅約3mm、平滑デ刺ナク、縁部カラ約2-3cmノ間隔ヲオイテ2列ノ小枝ヲ發スル。小枝(第二次ノ)ハ長サ約15cm=達シ幾分幅狭クハナルガ略ニ主枝ト同様デアル。葉ハ質多小厚ク披針形乃至線狀披針形デ屢々線形トナリ邊縁ニハ銳イ鋸齒ガアルカ又ハ鋸齒ハ不明瞭トナツテキル。先端ハ稍尖リ、基部ハ廣イ楔形デ大ナルモノデ4cm×6mm位ノ大キサヲ示ス。中肋ハ餘リ著シクハナイガ先端迄通リ、ソノ兩側ニ略々1列宛明瞭ナ毛叢ノ列ガアル。氣胞ハ大ナルモノデハ略々球形、長サ約9mm=達シ、柄ハ稍々葉狀ニ廣ガリ、ソノ長サハ氣胞自身ノ長サト略々同長カ又ハ幾分短イ。小サナ氣胞ハ倒卵形カラ橢圓形ヲ呈シ通常自身ヨリモ長イ柄ヲ有スル。兩者共少數ノ毛叢ヲ具ヘ、頂端ハ圓イカ又ハ短凸頭ヲ有スル。生殖器托ハ扁壓又ハ圓柱狀デ表面平滑又ハ先端ニ短イ小刺ヲ有シ約5mm長ク屢々先端ニ又シ聚繖花序狀ニ集ル。同一器托上ニ雌雄兩生殖窠ヲ生ズル。體全體トシテ多少肉質デ乾燥標本ハ黒褐色ヲ呈スル。

本種ハ上述ノ如ク猪野助教授ニヨリ臺灣鷺巒鼻ニ於テ採集サレ今迄本邦ニハ未知ナモノデ印度洋カラ太平洋デハニューギニア、タヒチ、香港ニ分布スル。

2. えながもく *S. Henslowianum* J. AG. var. *condensatum* YAMADA, var. nov.—(第2圖)。

本種ノ標本ハ故成田清一氏ガ大正10年4月27日肥前野母崎ニ於テ採集シ筆者ニ送ラレタモノデ基部ヲ缺キ、恐ラク打揚品ト覺シキモノデアル。ソノ長サ55cmデ恐ラク主枝ヲ示スモノト思ハレル。全體幾分肉質デ乾燥標本デハ黒褐色ヲ呈スル。尙乾燥品ヲ再ビ水ニ戻スト脆弱トナリ切レ易クナル。先ヅ主枝ハ扁平、平滑デ乾燥狀態デ幅約2mmアリ、ソノ兩縁カラ約1.5-2cm間隔ヲ以テ小枝ヲ二列ニ發生スル。葉ハ線狀披針形又ハ線形デ大ナルモノデハ長サ8cm幅8mm位ニナリ、先端略ニ尖リ邊縁ニハ銳イ鋸齒ガアル。中央ニハ中肋通リ、ソノ兩側ニ略々1列宛ノ毛叢ガアル。尙乾燥シタモノハ幾分白粉ヲフィテキル。氣胞ハ倒卵形又ハ略々球形ヲ呈シ、大ナルモノデハ長サ8mm=達シ、毛叢ヲ有シ先端ハ圓イ。柄ハ扁平デ稍々葉狀ヲ呈シ、長ク、時々氣胞

自身ノ3倍位ニナル事モアル。基本種ハ雌雄異株デアルガ本變種モ同様デアルモノ、如ク、成田氏ノ標本ハ雌株デ何レモ藏卵器ノミヲ容ル、生殖窠ノミヲ



第2圖 えながもく *S. Henslowianum* var. *condensatum* YAMADA.
成熟セル小枝ノ上部 ($\times 3\%$).

有スル。生殖器托ハ長目ノ圓錐形ヲ呈シ先端屢々二叉シ此等ガ總狀又ハ時ニ、特ニ下部ニ於テ圓錐花序様ニ配列サレテキル。

本植物ハソノ生殖器托ノ配列ニヨツテ見ルニ明ニ J. AGARDH ノ Tribe Racemosae ノ内ノ Subtribe Siliquosae = 入レラルベキモノデ、ソノ内 *S. Henslowianum* J. AG. 並ニ *S. paniculatum* J. AG. ノ兩者ニ近似スルモノデアル。而モ此ノ兩者ハ記載文ニヨレバ後者ハ前者ニ比シテ葉ノ色ガヨリ濃ク、又ヨリ粗慥デ前者ハ白粉ヲフキ氣胞ノ柄ハ後者デハ扁平、前者デハ圓柱狀、生殖器托ハ後者ノ方ガ遙ニ混シテ圓錐花序狀ヲ呈スルト云フ。以上ノ内氣胞ノ柄ノ扁平ナルカ圓柱狀ナルカハ餘リ當テニナラヌモノ、如ク (GRUNOW: Additam. ad cognit. Sarg. 參照) 野母崎產ノモノハ何レカト云ヘバ前者ニ宛テルベキモノト思ハレル。然シソノ生殖器托ハ *S. Henslowianum* J. AG. ノ基本種ヨリハ餘程縮シテキル點ヲ顧慮シテ變種トシテ分ツヲ至當トスル。

尙 *S. Henslowianum* J. AG. ノ基本種ハ支那海マカオ並ニ香港ニ產スル。ヨツテ他日我邦ニモ產スル事ガ知ラレントノ豫想ノ下ニ岡村先生ノ海藻誌ニハソノ 362 頁ニ記文ガ載セテアル。

3. きればのまめたはら *S. piluliferum* var. *serratifolium* YAM., var. nov. — (第 3-4 圖)。

本植物ハ中村義輝學士ガ筆者ノ請ニ應ジテ昭和 15 年夏大隅國內ノ浦ニ於テ採集セルモノデ干潮線下數尺邊ノ岩上ニ生ズル。

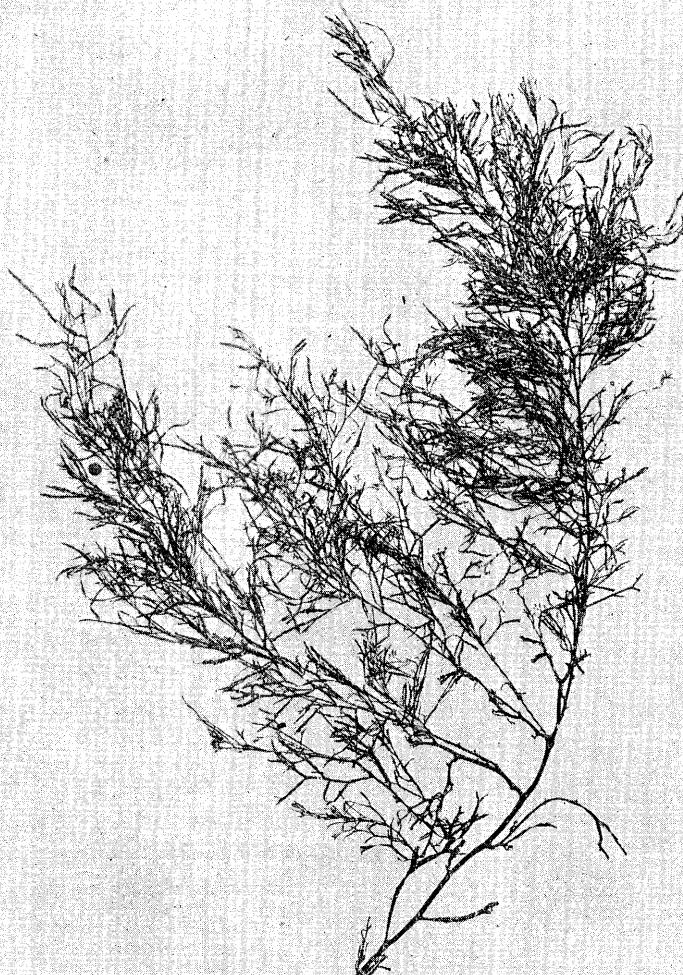
全體纖弱ナ植物デ約 25 cm ノ高サヲ有シ、根ハ直徑 1 cm 内外ノ盛上ツタ小圓錐形ノ盤狀根ヲ呈シ、莖ハ短ク、長サ 1 cm ノ超ユル事殆ドナク、圓柱狀デ表面ニ凹凸アリ、直徑約 1.5 mm、主枝ヲ各方面ニ發出スル。主枝ハ長サ 10-25 cm、幾分扁壓サレ、



第 3 圖 きればのまめたはら *S. piluliferum* var. *serratifolium* YAMADA.

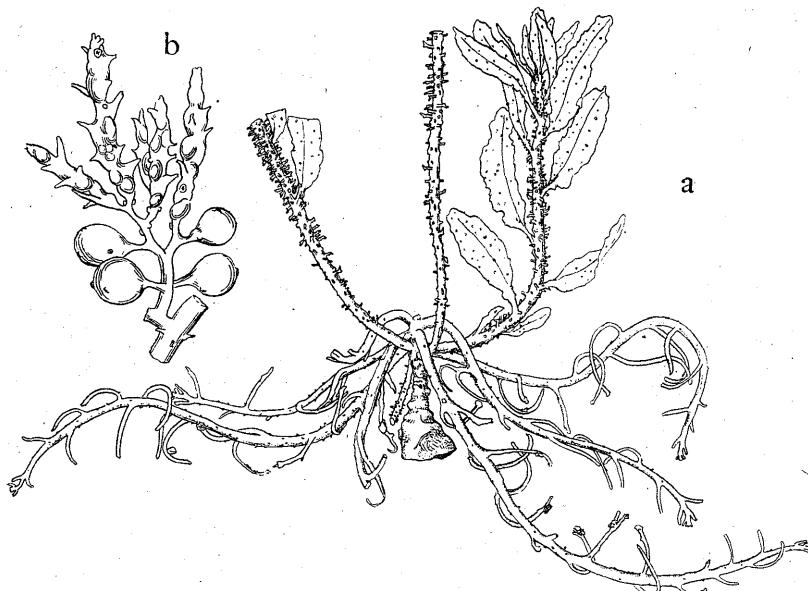
a. 雌株ノ小枝 ($\times \frac{1}{2}$). b. 雄株ノ小枝 ($\times \frac{1}{2}$).

特ニ上部ニ於テハ毛叢ヲ有シ 1.5-1.0 mm⁵太ク、約 0.5-1.0 cm⁵ノ間隔ヲ以テ小枝ヲ殆ド 2 列ニ發出スル。小枝ノ長サハ 5-10 cm 位、段々上方ニ短クナリ、主枝ト同様毛叢ヲ有スル。葉ハ膜質デ細線状、稍々叉状ニ分裂シ、又ハ單一、長



第 4 圖 きればのまめたはら *S. piluliferum* var. *serratifolium* YAMADA ($\times \frac{1}{2}$).

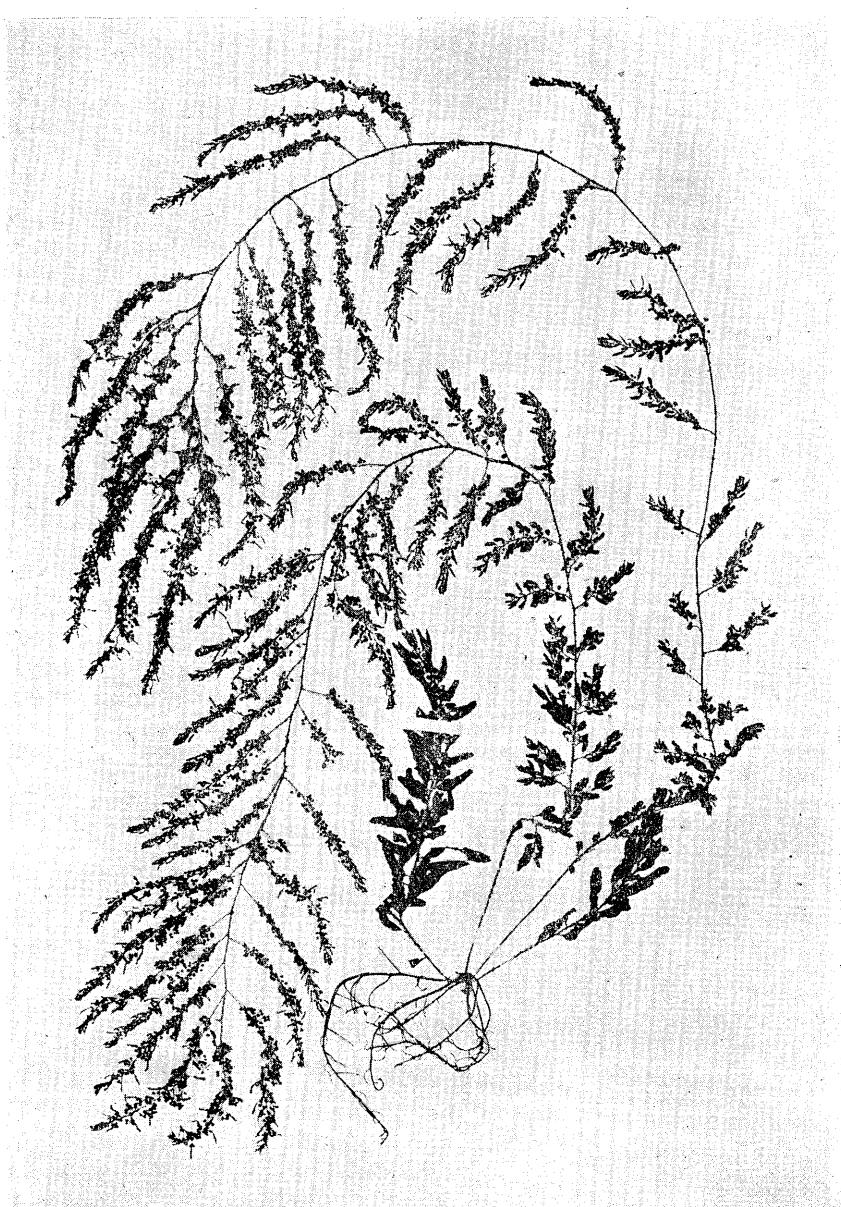
サ 2-3 cm 幅 1-2 mm、邊縁ニ銛イ又ハ不明瞭トナツタ鋸齒ヲ具ヘ、中央ニハ幾分不明瞭ナ沈在スル中肋ト 2 列ノ毛叢トヲ具ヘテキル。氣胞ハ數少ク、球形乃至倒卵形、長サ 3-4 mm、先端圓ク毛叢ヲ有スル。柄ハ長サ略々氣胞ノ長サト等シイ。本種ハ雌雄異株デ、雌ノ生殖器托ハ圓柱狀、表面凹凸アリ、甚ダ稀ニ小刺ヲ具ヘ總狀又ハ圓錐花序様ニ排列サレル。雄ノ生殖器托ハ前者ニ略々同ジデアルガ幾分ソレヨリモ長クナリ無刺デアル。



第 5 圖 こばもく *S. polycystum* C. AG. a. 基部 ($\times 200$). b. 生殖器托稍廓大。

4. こばもく ***S. polycystum*** C. AG., Syst. alg. (1824) p. 304; J. AGARDH, Spec. alg. (1848) p. 310; Id., Spec. Sarg. austr. (1889) p. 119; GRUNOW, Addit. ad cognit. Sarg. (1913) p. 444; REINBOLD in WEBER v. BOISSE'S Liste des alg. du Siboga, vol. 1 (1913) p. 169; SETCHELL, Templeton Crocker Exped., mar. plants (1935) p. 266—*S. microphyllum* YENDO (non AG.), Fue. of Japan (1907) p. 137; OKAMURA, Mar. alg. Kotosho (1931), p. 108; YAMADA, Meeresalg. Formosa II (1925) p. 247.—(第 5-6 圖)。

體ハ中位ノ大サデ全長 50 cm 内外アリ、纖弱デ雌雄異株デアル。根ハ直徑 1 cm 内外ノ小サナ盛リ上ツタ圓錐状デ、莖ハ短ク長サ 1 cm 許、圓柱狀デ疣々アリ、主枝並ニ匍伏枝ヲ發スル。匍伏枝ハ通常莖ノ上端附近カラ發シ(即チ主



第 6 圖 こばもく *S. polycystum* C. Ag. (\times ca. $\frac{1}{3}$).

枝ヨリモ後ニ發スル様ニ思ハレル) 略圓柱狀デ幾分刺アリ、短イ小枝ヲ略々2列ニ羽狀ニ發出シ、ソノ小枝ノ先端ハ附著器官トナル。主枝ハ線狀略々圓柱狀デ密ニ小刺ヲ有シ短イ間隔ヲオイテ小枝ヲ各方面ニ發スル。小枝ハ短ク、長キハ約12cm=達スルコトアルモ通常ソレヨリモ短ク、圓柱狀デ刺ヲ具ヘ更ニ小枝ヲ以テ密ニ被ハレテキル。葉ハ主枝ノ下部ニアルモノハ長橢圓形或ハ線狀長橢圓形、約20cm長ク6-7mm廣ク短柄ヲ具ヘ、先端鈍圓、或ハ幾分尖リ、邊緣ニハ鋸齒ヲ有シ或ハ鋸齒不明瞭トナリホド全邊トナリ、基部ハ屢々不均齊トナル。中肋ハ之ヲ有スルモ屢々中途デ消失シテ先端迄達セズ。毛叢ハ明デ不規則ニ散布サレテキル。體ノ上部ニ於ケル葉ハ遙ニ小トナリ、先端稍々尖リ又ハ鈍圓、時ニ殆ド截形、邊緣ニハ荒イ鋸齒ガアリ、基部ハ楔形ヲナシ比較的長イ柄ヲ有スル。毛叢ハ明デ中肋ハ微カニ現ハレ先端ニ達セヌカ又ハ之ヲ缺ク。氣胞ハ多數集リ生ジ、小サク、直徑3mm=達シ、殆ド球形、明ニ凸出シタ腺ヲ具ヘ、頂端圓ク、又ハ特ニ若イモノデハ時ニ幾分尖リ、又ハ小突起或ハ芒狀ノ突起ヲ有スル。柄ハ圓柱狀デ氣胞ノ長サヨリモ短イ。雌ノ生殖器托ハ圓柱狀又ハ幾分扁壓サレ、表面疣々アリ、荒イ刺ヲ具ヘ、總狀ニ配列サレ又ハ單獨ニ生ズル。

臺灣ノ各地、即チ琉球嶼、鷺嶼、火燒島、大板埒、猫鼻、琉球宮古島等ニ產シ、又印度洋及南太平洋ノ各地、即チセイロン島、バンカ島、昭南島、スンダ海峽、トンガ、サイパン島等ニ分布スル。

本植物ハ初メテ故遠藤博士ニヨリ *Fucaceae of Japan* p. 137 =於テ三宅驥一博士ガ琉球ニ於テ採集サレタ標本ニ於テ見出サレタモノデ博士ハ *S. microphyllum* Ag.?トサレテキル。筆者ハ其後之ト同種ト思ハル、モノヲ臺灣ノ各地ニ採リ、植物學雑誌第39卷ニ同ジ名前ヲ以テ報ジタ。更ニソノ後岡村先生ハ瀬川孝吉氏ガ臺灣紅頭嶼ニ於テ採集セル標本ヲ同名ノ下ニ報セラレタ。元來 *S. polycystum* Ag., *S. microphyllum* Ag., *S. myriocystum* Ag., *S. parvifolium* (TURN.) Ag., *S. gracile* J. Ag. 等ハ互ニ近似シタ種類デ、各種相互間ノ區別點ハ甚ダ不明瞭デ、此等ノ内ノアルモノハ他ノ異名トナルベキモノデアロウ。然シ特ニ REINBOLD ノ記文ニヨルト *S. microphyllum* Ag. ニ於テハ葉ハ屢々甚ダ細ク絲狀トナリ、葉脈ハ殆ド之ヲ缺キ、*S. polycystum* Ag. ニ於テハ葉ハソノ様ニ細クナル事ナク又葉脈ハヨリ明デアル事ニヨツテ 区別スペシトアルニヨツテ今之ニ從ヒ今迄 *S. microphyllum* Ag. ト呼ンダモノヲ今後 *S. polycystum* Ag. ト呼ブ事ニ改メル。尙本種ハ上ノ記文ニモ又圖ニモ示ス如ク常ニ匍匐枝ヲ發スル。コレハらつぱもく屬 (*Turbinaria*) ハ普通ナモノデアルガ

ほんだわら属ニハ他ニ餘リ例ヲ見ナイ特徴デアルニモカ、ワラズ先人ノ誰モガ之ニ觸レテキナイ。然シ見テキナイノデハナイノデ、加州大學腊葉室ニ藏スルガアム島產ノ標本デ REINBOLD 氏ガ本種ト同定シタモノニハ明ニ之ガ見ラレル。コノ匍匐枝ヲ發スルト云フ性質ハ本種或ハ尠クトモコノ一群ニ特有ナ立派ナ性質ト見做ス事ガ出來ルト思フ。

尙上述ノサイパン島產ノ標本ハ筆者ガ大正14年ニ採集シタモノデ大體ニ於テ臺灣等ノモノトヨク一致スル。但シ此ノ標本ニ於テハ生殖器托ノ枝ハ屢々氣胞トナツテ、所謂“earpophylloous”ノ性質ヲ示シテキル。而シテ此ノ性質ハ SONDER ガ Alg. tropisch. Austr. p. 41 = *S. ambiguum* SOND. トシテ記載シタモノトヨク吻合スル。恐ラクサイパン島ノ標本ハ SONDER ノモノト同種ト思ハレル。コレニ依テ考ヘレバ *S. ambiguum* SOND. ナル種ハ多分 *S. polysystum* C. AG. ノ異名トナルバキモノデアロウ。

5. ひゅうがもく

S. hyugaense

YAMADA sp. nov.

—(第7-8圖)。

體ハ中位ノ大サ
ヲ有シ粗慥デア
ル。根ハ小圓盤狀
デ直徑約1.5 cm ア
リ。莖ハ甚ダ短ク
高サ1cmニ達スル
コト稀デ圓柱狀、
表面ニハ幾分疣々
アリ、直徑約3mm
許、主枝ヲ各方面
ニ發出スル。主枝
ハ長サ約50cm許、
扁壓サレ角バリ、
小刺ヲ具ヘテオリ
幅約3mmアリ、
1.5-2.5 cmノ間隔
ヲオキ小枝ヲ兩縁



第7圖 ひゅうがもく *S. hyugaense* YAMADA.
a. 成熟セル小枝 ($\times \frac{2}{3}$). b. 生殖器托 ($\times 1\frac{1}{3}$).

第8圖 ひゅうがもく *S. hyugaense* YAMADA (\times ca. 3/11).

カラ互生様羽状ニ發スル。小枝ハ長イモノデハ約 25 cm = 達シ、主枝ヨリモ段々細クナルガ他ノ性質ハ殆ドコレト變ラナイ。葉ハ體ノ基部附近ニ生ズルモノハ長橢圓形、2-2.5 cm 長ク、7-8 mm 廣ク、全縁ニ頂端鈍頭、中肋ハ明ニ通り、毛叢ハ小サク不明瞭デアル。他ノ葉ハ線状披針形或ハ線形、長サ 3-8 cm 幅 2-5 mm アリ、時ニ叉状ニ分岐スル。頂端ハ幾分尖リ邊縁ニハ銳イ鋸齒ガアリ、中肋ヲ通ジ毛叢ハ相當明瞭デ、乾燥後ハ幾分白粉ヲフク。氣胞ハ略倒卵形又ハ球形デ長サ 6 mm = 達シ、先端圓ク小サナ毛叢ヲ具ヘ、柄ハ扁壓又ハ扁平ニ屢々兩縁ニ鋸齒ヲ具ヘ通常氣胞自身ノ長サヨリモ稍々短イ。生殖器托ハ圓柱形デ先細ク、屢々叉状ニ分岐シ表面ニ凹凸アリ、刺ハナク、縮マツタ總状ニ配列サレル。同一生殖器托内ニ雌雄兩生殖窠ヲ生ズル。

本植物ハ筆者ノ請ニ應ジテ中村義輝學士ガ昭和 15 年 8 月日向國油津及青島ニ於テ採集セルモノデ *S. Merrifieldiae* J. Ag. = 近似スルモノ、様ニ思ハレルガ、主枝ハ扁壓サレ小枝ヲ 2 列ニ發スル點デ之ト區別シウル。但シ此ノ性質ハ屢々枝ノ捩レル事ニヨツテ不明瞭トナル事ガアル。又葉ガ本種ニ於テハ強度デハナイガ乾燥後白粉ヲフク事モ亦區別點ノ一つデアル。更ニ又本種ハ *S. vulgare* Ag. ノアル形ト近似ヲ示スガ如ク見エル事ガアル。然シ *S. vulgare* Ag. ナル種類ハ甚ダシク變化性ニ富ムガ如ク見エル多數ノ異ナル形ヲ含ミ、ソノ本態ヲツカム事が困難デアルガ元來ソノ原產地ハ地中海デアツテ他ノ諸所カラ報ゼラレタモノ、内ニハ多クノ異ナル種ヲ含ムモノ、様デアル、又 GRUNOW 氏ノ舉ゲタ太平洋產ノ形ノ内ニハ本植物ニ該當スルモノハ見當ラナイ。

尙上ノ記載文ハ油津產ノ標本ニ基ヅイタモノデアルガ青島ノモノハ油津ノモノニ比シテ葉ハ細ク鋸齒ハ鈍イ。兩者共打揚ゲラレタモノヲ採取セルモノデソノ生棲深度ハ不明デアル。（未完）